**COCORESERCH　LINKSHIP set.csv利用**

**TeraTerm設定一括書込/読み出しマクロ**

**操作マニュアル 　　　　　　　　　　　　　　　　　(2025.11.27更新)**

**1. はじめに**

本マニュアルでは、ココリサーチ計測器の設定値を  
**CSVファイルを使って一括書き込み（WP）・読み出し（RP）** するための  
Tera Term マクロの使用方法を説明します。

このマクロを使うことで、以下が可能になります：

* 設定値の一括書込（WP）
* 設定値の一括読み出し（RP → CSV自動更新）
* 書込→読み出しをセットで実行（自動検証）

**2. 必要なもの**

**● ソフトウェア**

* **Tera Term（最新バージョン推奨）**  
  https://ttssh2.osdn.jp/

**● ファイル**

* 設定用マクロファイル（COCOTera\_Config.ttl）
* LINKSHIP設定set.csvを名称変更した2つのファイル（set\_w.csv, set\_r.csv）
* 上記を一緒に入れた製品型式毎のフォルダ(例：\COCOTera\_PSA-2401)

**● 接続環境**

* 計測器本体（RS232C または USB-UART）
* 通信ケーブル（USBtypeC-USBtypAケーブル等）
* Windows PC

**3. CSVファイル（**set\_w.csv, set\_r.csv,**）の形式**

CSV の 1行は以下の形式になっています：

項目番号, 項目名, 設定値(3列目), 範囲, 工場出荷値,コメント, 予備列…

例：

102,出力更新時間,1,1～9999,1,単位：ms,0

103,出力移動平均,3,1～29,1,単位：回数,0

### ● 重要：3列目が「設定値」として利用されます

* 書き込み時：set\_w.csvの3列目の値が本体へ書き込まれます
* 読み出し時：本体の値がset\_r.csvの3列目に自動反映されます

### ● コメント行

行頭が # の行は無視され、そのままCSVに残ります。

#,CH1 設定（参考）,,,,

**4. マクロでできる動作**

マクロは内部で「mode」で動作を切り替えています：

COCOTera\_Config.ttlを開き、上部にあるmode=2の箇所を書き換えることで、

以下の動作モードにチェンジできます。

| **mode値** | **動作内容** |
| --- | --- |
| **0** | 書き込みのみ（WP） |
| **1** | 読み出しのみ（RP → 3列目更新） |
| **2（推奨）** | 書き込み → 読み出し → 自動更新 |

通常は **mode=2** のままお使いください。

**5. 設定対象機器本体との接続方法**

1. 設定対象機器 の電源を入れる
2. PC と 機器 を USB-UART（またはRS-232C）で接続
3. デバイスマネージャで COM番号を確認
4. Tera Term を起動
5. **Tera Term：シリアル接続を選択 → COMx を選択**
6. 通信設定は次の通り：

| **設定項目** | **値** |
| --- | --- |
| TeraTermボーレート | **230400（または装置仕様に合わせる）** |
| データ | 8bit |
| ストップビット | 1bit |
| パリティ | なし |

**6. マクロの実行手順**

**① マクロ実行**

1. Tera Term メニューより  
   **[制御] → [マクロ] → [マクロ実行]** を選択
2. 設定対象の型式のフォルダのCOCOTera\_Config.ttl を選択

**② マクロ開始～書込・読み出し動作**

マクロは次の順で動作します：

1. 機器へ **「P」** を送信（設定モード開始）
2. 1行ずつset\_w.csvの1列目項番、3列目設定値を読み込み
3. 各項目について
   * mode=0/2：WP書き込み
   * mode=1/2：RP読み出し → set\_r.csvの3列目設定値欄を更新
4. 処理済みのCSVを **set\_r.csv** として保存
5. 機器へ **「E」** を送信（終了）

処理が完了すると set\_r.csv に反映されます。

**7. 出力CSVファイル（set\_r.csv）**

動作モードが **1 または 2** の場合、  
本体から読み出した値が set\_r.csvの3列目に自動的に反映されます。

例：　読み出し前のset\_r.csv

102,出力更新時間,1,1～9999,1,単位：ms,0

本体の値が「5」だった場合 → 更新後：

102,出力更新時間,5,1～9999,単位：ms,0

**8. Tera Termの設定**





**8. よくある質問**

**Q. 「?」 が返ることがあります**

通信速度が速すぎる場合があります。  
**Tera Termの送信遅延設定を 字と行について10ms～20ms にしてください。**

設定：  
[設定] → [その他の設定] → [送信] → 送信遅延：10ms

以上